

みんなの 声 ひろば



(荘田)

かけがえのなき 地域：

遠藤 修

荘田部落は、高麗山の麓に立地している26世帯の小さな集落である。小学校時代に盛んに描いた高麗山が、今でも変わらずそびえ立つのを見るのは楽しい。先輩が伝えて来た、元日の新年祝賀会から始まり、年末の賽の神のしめ縄作りまで、様々な行事が行われている。そして、時にはちよつとした有志の集まりによる飲み会も盛んである。地域が私達を育ててくれたのだ。

同様に思うが、少子高齢化時代の影が忍び寄ってきた。共同作業や連帯の取れない環境が出始めているのも事実である。こういう時こそ最低限の「助け合いと交流の風土」がいつまでも、

後世へ引き継がれて欲しいと思っている。かけがえのなき「荘田部落」と「新大山町」であるから…。

あとがき

定例議会も終り、わかりやすい議会だより編集に励むこの頃、大山のナナカマドの実も赤くなり、観光客の目を楽しませている。

企業会計決算や補正予算の議案に対し活発な質疑が行なわれた。特に滞納未収金については厳しい意見が相次いだ。紙面の制約で割愛したことをお断りします。大型事業やインフラ整備の続く新大山町、行政と議会と住民が協力し、行財政改革を進めなければならぬ。

ご意見をおよせください。

(岡)

新生大山町の 発足を祝福して



(北御崎)

西村 全弘

まづ本町住民の一人として、「新生大山町の誕生を、諸手を挙げて祝福いたします。」

私はかつて、町内の小学校に勤務した身でございしますが、本町がすばらしい自然と教育風土に恵まれていることを今後も重視し、いよいよ発展することを期待しております。

今後とも本町が行政施策を整え、産業の発展と教育福祉を重視する町であることを願っています。

合併の小さな 効果



(上大山)

平田 英士

これまで旧町のことすら知らないことが多々あり、ましてやお隣の町のことなどほとんど知らないのが本当の所でした。

私は、名和で農業を営んでおり、農業後継者の会(名和グリーンカルチャークラブ)で町づくり活動もしている。

私は、名和で農業を営んでおり、農業後継者の会(名和グリーンカルチャークラブ)で町づくり活動もしている。

《広報委員会》

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 西山富三郎 |
| 副委員長 | 岡田 聡 |
| 委員 | 遠藤 幸子 |
| 委員 | 吉原美智恵 |
| 委員 | 西尾 寿博 |
| 委員 | 近藤 大介 |